令和８年度　第３回　玄海学園運営協議会　議事録

令和８年９月 24 日

時 間	内 容
15:00	受 付
15:10	１ 開会行事 ○はじめの言葉 （１） 会長挨拶　　玄海学園運営協議会 会長 中野 和久 様 ・本日は 2 つの協議。 ・4 校の学習を参観して、感じた子供たちのよさの共有 ・アンケートからわかったこと、児童生徒の様子、今後の取り組みの共有 （２） 日程説明
15:15 15:25 16:00 16:20	２ 熟議(議事録は、別紙参照) 【協議１】 各校の学習参観を通して、気づき、考えたことを共有する ～玄海学園の子供たちのよさ、可能性について語り合う～ ・学園アンケート結果の報告 3 つの強み…規範意識が高い(あいさつや返事、) 高い人権意識(友達を大切にする意識) 粘り強く取り組む姿勢(ふるさと学習の成果) ラブ玄海プロジェクトの取組を通して、「それぞれの立場で私たちにできることはないでしょうか？熟議で話し合っていただきたい。」 【熟議】 「社会をつくる一員として、自分で気づき、自信をもって行動する子供の育成に向けて」 家庭・地域・学校ができること ○意見交流、報告、質疑応答 ・12 月と 1 月に地域行事と学校行事のすり合わせをしてみたい。共育目標達成に向けた活動の精選と実施時期を明文化していくことが必要 ・様々な場面で子どもたちに体験をさせることの大切さを改めて感じた。 ・ボランティアの募り方も工夫する必要があることが分かった。 ・目的をはっきりすることが大切であることを感じた。 ・中学校…ボランティアを募る方法も工夫して進めていきたい。例えば、子どもたちにブースを一つ任せるなど、子どもたちがしてみたいことを聞く場を設けるなどの工夫が必要 【まとめ】 福岡教育大学大学院 特任教授 野口 博明 様 ・玄海東小…特徴は環境が整っている。統一感が見事だった。 先生の細かな支援があったことで子どもたちも活動的だった。 ・地島小…子どもたちの追求意識を継続させる適切な指導が進められていた。 3 年生重さ、4 年生結合の法則、1 年前の復習など複式をいかした取り組みが

	あった。下学年に友だちに学習したことを伝える場面もあった。 ５年生…分数の大きさ ６年生…最頻値　45 分間 2 人が集中している。 ・玄海小…ICT 活用。小集団の話し合いを中心に進めていた。教室の前面＝UD 視覚情報の整備はどこの学校も必要。社会科はもっと工夫できる。 ・玄海中…国語の時間で内容が大きくかわった。前半は教師が生徒に自由に発言させながら、内容を分類していき、課題を一斉に課す流れだった。子どもたちは、課題に真剣に取り組むことができていた。 学園として、発言のさせ方、ノートの取り方など、学習規律についてはまだ議論の余地ある。
16:35	３ 閉会行事 〇教育委員会挨拶 宗像市教育委員会　　荒木　恵理　様 ・午後参観　　「自分で気づき自信をもって行動する姿」を見つける 玄海小 1 年生…タブレットを使って問題を作って友達に送る＝楽しく学ぶ姿 6 年生…先生の準備がすばらしかった。資料があるから効果的に学べた。 事実と根拠に色分け　友達の分も。 先生たちの工夫が随所で見られた。 ・コミュニティスクールの認知度の低さ＝課題地域行事と学校行事のすり合わせを行うことが大事　→　行事をすることが目的ではない。何のための行事か。 ＝この熟議を広げていくことが大事